

令和7年度学校努力点

1 主 題

自律して学び続ける大坪っ子

－ やってみたいをやってみよう －

2 主題について

令和5年9月、名古屋市教育委員会より「ナゴヤ学びのコンパス」として、名古屋市の学びの基本的な考えが示された。「ナゴヤ学びのコンパス」の中で、目指したい子どもの姿として「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける姿」が示されており、御幸山中学校ブロックで検討会を行い、「自律して学び続ける児童の育成」を共通の目指したい子ども像とすることにした。

本校においては、令和6年度は、「自律して学び続ける大坪っ子」の育成を目指して、①「自ら考えて学ぶことのよさを実感することができるための取り組み」、②「自己選択、自己決定をしながら学習を進めることができるための取り組み」、③「学びに見通しをもち、自ら学び続けることができるための取り組み」を重点とした。実践を通して、小单元内自由進度学習を取り入れたり、振り返りの仕方を工夫したりすることで、学ぶペースや方法、内容などを自己選択、自己決定したり、次時の学習につながる振り返りを行ったりする姿が見られた。一方で、②③の取り組みについては、十分な効果があったものの、①の取り組みでは、事後検討会にて、子どもたちが授業中に興味・関心をもったことに取り組ませることができていなかったという反省点が挙げられた。

そこで、本年度は、「自ら考えて学ぶことのよさを実感することができるための取り組み」に重点をおいて実践に取り組み、子どもたちの「やってみたい」といった興味・関心等に応じ、やりたいことに取り組むことができるような手立てを講じていくことで、目指す子ども像に迫っていきたいと考える。

3 実践の進め方

実践においては、教師が以下の3つ重点を、学年や児童の実態に合わせて、学年で選択して授業を行っていく。令和7年度は、重点1に取り組むようにする。（※重点2、重点3についても可能な限り取り組む）

重点1 自ら考えて学ぶことのよさを実感することができるための取り組み
～興味・関心等に応じ、やりたいことを見付けて取り組む～

重点2 自己選択、自己決定をしながら学習を進めることができるための取り組み
～学ぶペースや方法、内容などを自己選択、自己決定しながら学習に取り組む～

重点3 学びに見通しをもち、自ら学び続けることができるための取り組み
～次時の学習につながる振り返り活動に取り組む～



自律して学び続ける大坪っ子